

# 第47期 決算公告

2022年6月23日

大分県大分市中央町2丁目9番22号  
大分リース株式会社  
代表取締役 田中 秀幸

## 貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	21,694,691	流 動 負 債	6,902,605
現 金 預 金	240,985	買 掛 金	758,363
リ ー ス 債 権	1,071,844	短 期 借 入 金	1,600,000
リ ー ス 投 資 資 産	15,662,057	1年内返済予定長期借入金	3,735,640
割 賦 債 権	4,820,861	リ ー ス 債 務	18,588
未 収 リ ー ス 料	29,309	前 受 リ ー ス 料	59,404
前 払 費 用	49,026	割 賦 前 受 消 費 税	278,531
そ の 他	176,888	割 賦 未 実 現 利 益	328,120
貸 倒 引 当 金	△ 356,280	未 払 法 人 税 等	27,592
固 定 資 産	1,031,414	賞 与 引 当 金	12,365
有 形 固 定 資 産	503,165	そ の 他	83,998
リ ー ス 賃 貸 資 産	129,370	固 定 負 債	7,611,106
建 物	53,418	長 期 借 入 金	7,504,780
建 物 附 属 設 備	7,227	リ ー ス 債 務	64,547
器 具 備 品	4,958	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	6,050
土 地	279,431	退 職 給 付 引 当 金	26,730
リ ー ス 賃 借 資 産	28,748	そ の 他	8,998
そ の 他	10	負 債 の 部 合 計	14,513,711
無 形 固 定 資 産	60,423	(純資産の部)	
ソ フ ト ウ ェ ア	7,166	株 主 資 本	8,160,731
リ ー ス 賃 借 資 産	51,125	資 本 金	60,000
そ の 他	2,132	利 益 剰 余 金	8,100,731
投 資 そ の 他 の 資 産	467,824	利 益 準 備 金	15,000
投 資 有 価 証 券	216,721	そ の 他 利 益 剰 余 金	8,085,731
関 係 会 社 株 式	40,500	別 途 積 立 金	7,400,000
破 産 更 生 債 権 等	78,860	繰 越 利 益 剰 余 金	685,731
繰 延 税 金 資 産	132,484	評 価 ・ 換 算 差 額 等	51,661
そ の 他	67,269	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	51,661
貸 倒 引 当 金	△ 68,011	純 資 産 の 部 合 計	8,212,393
資 産 の 部 合 計	22,726,105	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	22,726,105

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

### (2) 固定資産の減価償却の方法

リース賃貸資産

リース契約期間を償却年数とし、リース契約期間満了時の見積処分価額を残存価額とする定額法のほか、リース賃貸資産の見積処分損失額を減価償却費として計上しております。

その他の有形固定資産

定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法）を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	38年
建物附属設備	8年～15年
器具備品	5年～15年

その他の無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

リース賃借資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース賃借資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース賃借資産

リース契約期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職金の支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務見込額に基づき、必要額を計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員の退職慰労金支給内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### (4) 収益費用の計上基準

ファイナンス・リース取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

リース料を収受すべき時に売上高及び売上原価を計上する方法によっております。

割賦販売取引の会計処理方法

割賦販売取引は商品の引渡時に、その契約高の金額を割賦債権に計上し、割賦販売契約による支払日を基準として当該経過期間に対応する割賦売上高及び割賦原価を計上しております。

なお、期日未到来の割賦債権に対応する割賦未実現利益は、繰延処理して流動負債に計上しております。

### (5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によって処理しております。

## 2. 会計方針の変更に関する注記

### (1) 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日)等を当事業年度の期首から適用しております。

なお、この変更による財産及び損益への影響はありません。

### (2) 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第 30 号 2019 年 7 月 4 日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第 19 項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第 10 号 2019 年 7 月 4 日)第 44 - 2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、この変更による財産及び損益への影響はありません。

## 3. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

貸倒引当金 424,292 千円

## 4. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 261,652 千円

(2) 未経過リース期間にかかわるオペレーティング・リース契約債権 267,154 千円

(3) 1 年を超えて入金期日の到来する営業債権等

リース債権	759,624 千円
リース投資資産	11,685,511 千円
割賦債権	2,306,291 千円
未経過リース期間にかかわるオペレーティング・リース契約債権	31,597 千円

計 14,783,025 千円

(4) 関係会社に対する金銭債権及び債務

短期金銭債権	327,218 千円
短期金銭債務	3,125,640 千円
長期金銭債務	3,832,280 千円

## 5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産の主な発生要因は、貸倒引当金であります。

## 6. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	所在地	資本金 (百万円)	事業の内容	議決権等の 被所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員 の兼任等	事業上 の関係				
親会社	關大分 銀行	大分市 府内町	19,598	銀行業	直接 100.0%	兼任 3名	事業資金 の借入	短期事業 資金の借入 (注)	2,700,000	短期 借入金	1,400,000
								長期事業 資金の借入 (注)	2,100,000	1年内 返済予定 長期借入金	1,725,640
										長期 借入金	3,832,280

(注) 短期事業資金の借入及び長期事業資金の借入の利率は一般市中金利と同水準となっております。

## 7. 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産額 68,436 円 61 銭

1 株当たり当期純利益 1,155 円 44 銭